



SASEBO WEEKLY

R.I. D.2740 JAPAN
佐世保ロータリークラブ

会 長：田中丸善弥 幹 事：芹野 隆英
事務所：佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323
例会会場：佐世保玉屋8階(毎週水曜日) TEL 0956-23-8181
http://www.sasebo-rc.jp/ E-mail:src@circus.ocn.ne.jp

平成 27 年 12 月 9 日

第 3,194 回例会

NO 22

《本日》会員数 75 名(出席免除会員 23 名)・出席 50 名・免除者欠席 8 名・欠席 17 名・ビジター 0 名・出席率 66.67%

《前々回》会員数 75 名(出席免除会員 23 名)・出席 47 名・免除者欠席 11 名・欠席 17 名・メークアップ 17 名・修正出席率 100.00%

会長挨拶

会長 田中丸善弥

皆さん今日は。先日の新聞で2015年ヒット商品番付という記事がありましたのでご紹介します。まずは、W杯で優勝候補の南アフリカを大逆転で撃破した「ラグビー桜ジャパン」、もう一つは東京・金沢を最短2時間で結ぶ「北陸新幹線」(半年で480万人利用)、次に米ネットフリックスなど音楽・動画の「定額配信」、そしてお笑いコンビピースの又吉直樹氏が芥川賞を受賞した「火花」。また「肉食ブーム」、「ハロウィン・フィーバー」(市場規模1,220億円)。「12の神薬」(中国の口コミサイトに日本で買うべき薬と紹介、爆買いで3倍の売れ行き)。「LCC成田ターミナル」(格安航空LCCターミナル専用、年間550万人利用)。後は「下町ロケット」、「NHK朝ドラ あさが来た」 「デルガード」(芯が折れないゼブラシャープペン)、「民泊」、「塩パン」、「郵政3社株」、「ドローン」、「ペッパー」(人型ロボット) など明日を塗り替える一步となる言葉が並んでいました。

さて、12月はロータリーでは特別月間として疾病予防と治療月間 “Disease Prevention and Treatment Month” となっています。地域社会の医療従事者の能力向上、伝染病の伝播の食い止め、その予防プログラム、地域住民への教育などです。

最後に先日、12月5日(土)に西海学園IACの歳末助け合い街頭募金が島瀬公園前にて、田中



信孝委員長、松尾文隆副委員長のもと寒風の中、実施されました。元気一杯の「お願いしまーす!!」の声に道行く方々も足を止め募金していただきました。当日参加されたロータリアンにも感謝御礼申し上げます。

例会記録

- ロータリーソング「それでこそロータリー」
- 卓話者
佐世保史談会 会長 ^{なかしま} 中島 眞澄 様

幹事報告

幹事 芹野 隆英

1. 第2740地区 太田 善久ガバナー事務所より
年末年始休業のお知らせ
2015年12月26日(土)~2016年1月4日(月)
2. 第2740地区 宮崎 清彰ガバナーエレクト事務所より
年末年始休業のお知らせ
2015年12月26日(土)~2016年1月4日(月)
3. 地区ロータリー財団委員長山田 晃さん
補助金委員長 西川 義文さん
ロータリー財団補助金セミナーのご案内
日時/2016年1月31日(日) 12:30~受付
13:00 点鐘 16:30 終了予定
会場/唐津市^{おうち}相知交流文化センター
クラブ出席対象者/クラブ会長エレクト、
今年度クラブR財団関係委員長・理事

4. 大村ロータリークラブ

週報No.14～18が届いております。

5. 陸上自衛隊西部方面混成団兼相浦駐屯地 機関紙「つくも」が届いております。

6. 一般財団法人 比国育英会バギオ基金

会長 坂本 俊雄 様

副会長 斉藤 実 様

2014年度事業報告書の送付と基金へのご寄付の要請がきております。

7. 日本赤十字社長崎支部佐世保市地区

地区長 朝長 則男 様

赤十字事業への協力について(お願い)

委員会報告

■創立65周年記念式典実行委員会 中村 徳裕

2016年2月21日の創立記念日がせまってきました。案内状を発送したところです。本日例会終了後、記念式典の打ち合わせを行いますので、委員長、副委員長はご出席願います。



■ロータリー・アクト委員会 委員長 山口 剛史

長崎国際大学RAC
12月 第129回クリスマス例会のお知らせ

日 時/2015年12月17日(木)

19:30(食事)～

例会会場/ホテルオークラJR

ハウステンボス

登録料/5,000円

*当日プレゼント交換を行いますので、1,000円程度のお品をご持参ください。

*ご出席されますと、メイクアップになりますのでご活用ください。

インター・アクトのメンバーも楽しみにしていますので皆さまの参加をよろしく願います。



■第5グループガバナー補佐 大神 邦明さん 「ガバナー補佐リレー随想」の紹介

ガバナーズ・マンスリー・レター 12月号 P15に掲載されております。ご一読ください。

■インター・アクト・青少年活動委員会

委員長 松尾 文隆

12月5日(土) 10:30～ 高校生ボランティア活動の一環として、四ヶ町アーケード内島瀬公園前におきまして「歳末助け合い街頭募金活動」に立ち会ってまいりました。



メンバーは西海学園インター・アクトメンバーと2年4組の生徒16名、顧問の林田先生、当クラブから田中丸会長、増本次年度会長、インター・アクト委員会より私が、参加してまいりました。募金活動のあと、別室を設け田中丸会長の挨拶の後、当日の募金金額の確認を行い散会いたしました(募金金額83,946円)。募金は長崎新聞社を通じて日本赤十字社へ寄付します。

尚、12月12日(土) 12:00～13:30、12月20日(土) 11:00～12:30、親和銀行前(アーケード)にて活動致しますので、通りがかりの際は激励とご協力をお願いいたします。



雑誌の時間

親睦活動委員会 石田 謙二

「ロータリーの友12月号」84ページの中には、地域社会での奉仕活動や、自然災害に備えての対応実例の特集など100本近い寄稿がありました。これに俳句、短歌、川柳の合わせて55作品が加わります。とても充実した内容という印象です。



その中で、私は、「友愛の広場」のコーナーに掲載されている寄稿文が目にとまりました。ミャンマー国境に位置するタイ最北西端の村にきれいな水を供給できる浄化設備をつくる、グローバル補助金プロジェクトのため4月に現地視察した、群馬県・桐生西ロータリークラブ会員のレポートです。

戦時中のミャンマー(旧ビルマ)でのインパール作戦で敗れて逃げてきた日本兵の墓と遺品が、現地の人に大切に守られているのを、視察会員が知ったという話です。遺骨は日本に引き取られることなく、現地に眠っているという内容です。

みなさんご存じのように、海外で先の戦争で犠牲になりながら帰国できない日本人の遺骨がたくさん残されています。戦没者240万人のうち、半数以上の約113万柱が帰っていないといわれます。その遺骨収集を国の責務として進めさせるための法案が9月に衆議院を通過し、参議院で審議中です。成立したら今後10年間で集中して実施する予定だそうです。ようやくという印象です。

でも遺骨が帰ってきて、遺族に引き取られるかという、そうではありません。身近な例が佐世保市江上町の釜墓地に眠る6,500余りの遺骨です。多くはフィリピンの日本人収容所などで死亡し、1949年に「ぼごた丸」という船で運ばれてきました。名簿もありますが、これまで身元が判明したのは約580柱にとどまっているそうです。

昨日12月8日は、74年前に太平洋戦争が始まった日でした。日本は4年弱、国を挙げて戦い、負けたわけですが、戦争の後始末ともいえるこうした遺骨問題の大変さを考えると、戦争は二度としてはいけないという気持ちにあらためてなります。以上

祝

親睦活動委員会 筒井 和彦

○今月の誕生祝い

長島 正さん (5日)

前田 文智さん (5日)

菅沼宏比古さん (21日)



ニコニコボックス

親睦活動委員会 大神 吉史

坂元 崇さん、山縣 義道さん

中村 徳裕さん、石田 謙二さん

大神 邦明さん

佐世保史談会会長 中島眞澄様の卓話に期待して。

大神 吉史さん

本日18:30～男声コーラスが中央公民館にて練習最終日です。そこで団結式を黒木大委員長指揮のもと、練習後に「ごたる」で20時以降開催します。是非とも親睦委員会ならびに出席委員会の皆様と美声の方は参加の程、宜しくお願いします。

長島 正さん、前田 文智さん

菅沼宏比古さん

誕生祝いありがとうございます。

ニコニコボックス 本日合計 9,000 円
累計 503,000 円

卓話

『佐世保から文化を発信していた時代』

…輝いていた古代の佐世保

佐世保史談会

会長 中島 眞澄 様



佐世保は明治22年(1889)7月、海軍鎮守府が開庁したこと、それ以来発展した都市だと思われる。九州の西端の名もなき村が明治政府の富国強兵政策で海軍の町として大きく発展した。以後ゴールドラッシュのように近隣から多くの人たちが佐世保に流入した。こうして明治35年(1902)市制施行に至った。歴史は浅いながらも市内の随所に旧海軍の遺構即ち近代化遺産が残されている。しかし、そのことが佐世保の歴史の全てではない。

また、これは突然降って湧いたような出来事に要因するものではない。此の地に住む人々が、長い年月を刻んで作り上げてきた歴史の重みが流れていることを知らねばならない。多くの地域がそうであるように、どの地域も輝いていた時代があったのである。私はその輝いていた佐世保の歴史の一端を明らかにする。別の視点で佐世保を見直してほしいと思う。

幸い戦後の自由な学問の発展の中で、文献資料には見られない考古学上の調査が実施され、佐世保の旧石器・縄文・弥生時代のヒトの実態が明らかになった。特に昭和30年代から50年代にかけて、「泉福寺洞窟」の発掘調査をした千葉大学名誉教授 麻生 優や「福井洞窟」を調査した東北福祉大学教授 芹沢長介らの研究は我が国の歴史を大きく変えることとなり、西海のへき地サセボから文化を発信していた様相が解明されたのである。しかし古代(古墳・奈良・平安)の佐世保の実態は不明で謎のままであった。

謎を解く鍵が、近年の発掘調査でその状況が明らかになってきたのである。平成13年から6年間西九州道路建設の建設に関わって、「門前遺跡」や「竹辺C・D遺跡」の発掘調査が実施された。現在の相浦・中里インターチェンジ付近である。これらの調査から古墳時代から古代(奈良・平安)にかけての佐世保がどのような地域だったかが解明されつつある。

和銅6年(732)、朝廷は国毎にその地域の特産物や伝説、地勢をまとめた風土記の編纂を命じた。現在残っているのは『肥前國風土記』など5ヵ国のものである。その中で佐世保に関すると思われる地域は速来津と健村(健津)である。無論現在の早岐と相浦付近と推定される。こうした文献資料が僅かに佐世保のことを述べている。

その中で相浦川下流域一帯は、明暦元年(1665)平戸藩が「川下新田」を完成する以前は、豊饒の海であった。そこは古代に健津と呼ばれ、大陸から輸入される陶磁器の港であ

り、交易地でもあった。さらには朝廷の役人や有力者の存在を伺わせる重要な遺物や遺構が出土している。

県内で3~4ヵ所しか出土していない国産の緑釉陶器、膨大な量の土師器や須恵器、滑石製石鍋などから、確かにこの地が風土記に出てくる健津の可能性を物語っている。さらにここから遣唐使も大陸を目指したかもしれない。佐世保は文化の発信地ではなかったかと思うのである。

以上

*** 12~1月 例会卓話者予定 ***

12月23日 祝日休会日

12月30日 指定休会日

1月6日 創立65周年記念 炉辺会合例会
理事会17:00~ 例会18:30~
会場：富士国際ホテル

1月13日 クラブ協議会

*** 西海学園高等学校インターアクトクラブ例会予定 ***

12月の例会は休会となっております。

歳末助け合い街頭募金活動のご案内

日時/12月20日(日) 11:15~12:45

場所/親和銀行前(アーケード)

※会員の皆様、どうぞお近くに来られましたらご協力ください。

*** 長崎国際大学ローターアクトクラブ例会予定 ***

日時/12月10日(木) 開始19:30~

会場/ホテルオークラJRハウステンボス

日時/12月24日(木) → 12月17日(木) 開始19:00~
クリスマス例会に変更

会場/ホテルオークラJRハウステンボス

*西海学園IAC、長崎国際大学RACにご出席されますと、
メイクアップにもなりますのでご活用ください。

*RACへご出席される方はお食事の要・不要の確認を
いたしますので、事務局までお知らせください。

(今週の担当：上野 好章)

(カメラ担当：田口 恵介)

クラブ会報委員会

委員長 岡村 一郎
副委員長 土井 弘志

委員 河原 忠徳・吉田 英樹・大神 吉史
田口 恵介・上野 好章